

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却方法
定額法を採用している。
- (2) 引当金の計算基準
従業員に対する退職給付金に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理方法
税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
《特定資産》				
退職給付引当資産	3,229,669	480,120	0	3,709,789
広告塔修理引当資産	1,000,000	0	1,000,000	0
周年事業引当資産	1,000,000	0	0	1,000,000
財政調整特定引当資産	3,900,000	1,000,000	0	4,900,000
合 計	9,129,669	1,480,120	1,000,000	9,609,789

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
《特定資産》				
退職給付引当資産	3,709,789	0	0	3,709,789
周年事業引当資産	1,000,000	0	1,000,000	0
財政調整特定引当資産	4,900,000	0	4,900,000	0
合 計	9,609,789	0	5,900,000	3709789

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	除却額	当期末残高
広 告 塔	1,475,280	222,903	0	1,252,377
電話加入権	82,855	0	0	82,855
合 計	1,558,135	222,903	0	1,335,232

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の 名称	交付者	前期末 残高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
《補助金》 県連補助金	一般社団法人 福岡県法人会連合会	0	963,900	963,900	0	一般正味財産
全法連補助金	公益財団法人 全国法人会総連合	0	310,000	310,000	0	一般正味財産
《助成金》 全法連助成金	公益財団法人 全国法人会総連合	0	7,101,500	7,101,500	0	指定正味財産
全法連助成金	公益財団法人 全国法人会総連合	0	150,000	150,000	0	一般正味財産
合 計		0	8,525,400	8,525,400	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	7,101,500
合 計	7,101,500

7. 理事との取引の内容

開示を必要とする取引はない。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているので省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,229,669	480,120	0	0	3,709,789